

「イクボスアワード2019」受賞者の紹介

【グランプリ受賞】



(五十音順)

オリックス・クレジット株式会社

業種：金融業・保険業

トランスフォーメーション部

ビジネスプロセス改革チーム課長

古賀 唯泰 氏

- ◆ 自身や部下の育児と仕事の両立を考慮し、対面にこだわらないパソコン通信でのミーティングや、時間単位の休暇を率先して取得するなど、等身大のイクボスとして活躍
- ◆ 部下と積極的にコミュニケーションをとることで、チームの結束力を高め、業務効率化につなげており、その功績により、グループ会社内で優秀部門賞を受賞するなど、仕事においても成果を出している

株式会社シンコーメタリコン

業種：製造業

取締役 広報部部长

玉置 千春 氏

- ◆ 会社独自の取組である、連続7日間休暇取得制度「ドリームセブン」を率先して取得するなど、女性初の取締役として働きやすい職場環境づくりを推進
- ◆ 定期的に担当業務のローテーションを行うことで、職場のフォロー体制を整えているため、5日間連続男性育児休暇取得制度「イクメンファイブ」の利用により社員が不在になる場合でも円滑な引継ぎが可能
- ◆ 育児休業中の社員が、月に1回子どもと一緒に会社に顔を出す「育休出勤」を利用し、部下のスムーズな職場復帰をサポート

【特別奨励賞受賞】



(五十音順)

社会福祉法人あいのわ福祉会

業種：医療・福祉

事務局長
佐野 佑 氏

- ◆ 常に多くの仕事を効率的にこなすための工夫を行っており、事務局長という立場を活かし、ICT を積極活用した法人内の業務の標準化、効率化、勤怠管理等を推進
- ◆ 多忙な中で自らが率先して定時退社し、家事や子供の受験にも積極的に関わるなど、社員のワーク・ライフ・バランスのロールモデルとして活躍

都市産業株式会社

業種：サービス業（他に分類されないもの）

工場長
藤田 勲 氏

- ◆ 山口県の中小企業の工場長として、24 時間体制の現場を運営しており、交代シフト制で働く部下に配慮した働き方を実践
- ◆ 自身が育児に十分に参加できなかった過去の経験を踏まえ、若手従業員に同じ思いをさせないよう配慮し、仕事と子育ての両立支援を行っていくリーダーとして活躍